おおいしだ 議会だより

No.114
2007/10

親子で収穫（田沢小学校）

第3回定例会 9/4～12
第4回臨時会 7/20
第5回臨時会 9/26
第6回臨時会 10/18

2P 平成18年度会計を認定
4P 補正予算関係
5P 統合中学校建設用地決定
6P 町政を問う（6議員の一般質問）
12P 議会を傍聴して

この広報紙は再生紙を使用しています

発行／山形県大石田町議会　発行責任者／議長　佐藤小太郎
編集／広報特別委員会・〒999-4112 大石田町緑町一番地　☎0237(35)2111

議会を傍聴して

このたび、町議会の傍聴をする機会があって、いろんな面でがんばっているなと思いました。

さて、二日間傍聴してみると、一人一人の議員が、町に対して積極的に質問をしている様子がうかがわれました。福祉から学校問題までいろんなジャンルを越えて質問していることが、町にとって良い方向に向かっているようにうかがわれます。

私は、特に福祉問題をどのように対処していくのかが知っておきたいと思ったからです。今回、六人の議員が質問を行ないましたが、議員として最後の議会なので、真剣になって取り組んでいるように思いました。

質問の内容によって、傍聴をする人が少なく感じられたように思います。常にどんな質問でも積極的に傍聴してほしいなと思います。

町民にとって議会を見れば町の取り組みが見えてくると思いますが、傍聴しないと町の行政が変わらないと思います。議員の皆様も、町民の声を大切にして、積極的にお願いしたいと思います。今の議員さん達は最後ですが、町民の声を聞いて、町にとってすばらしい議員になってほしいです。

最後に、11月に町議会選挙が行なわれますが、新しい議員にも町発展のために、一生懸命がんばってほしいです。

これからも、町議会に期待していますので、傍聴してみたいです。がんばってください。

（S・T）

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は
12月13日（木）～18日（火）
の予定です。

傍聴は気軽においでください。

お問い合わせ先　大石田町議会事務局
TEL. 35－2111　内線312　FAX. 35－2118

秋田県羽後町視察来町

8月29日、秋田県羽後町議会広報委員一行の訪問がありました。これまで他市町村の先進的なところを勉強すべく出向いていくことはありましたが、研修される側となり、私たちは少々複雑な気持ちであった。

羽後町は、秋田県でいち早く合併しないことを決断したといいます。国による地方の切り捨てに反発すると同時に、湯沢市の莫大な借金に対する危惧、そして何よりも羽後町の優れた伝統文化の衰退を懸念したという。

秋田県指定無形民俗文化財の仙道番楽、同じく猿倉人形芝居、そして国指定重要無形民俗文化財とされる西馬音内の盆おどりは、日本人の感性を揺さぶる不思議な魅力があり、越中八尾の風の盆にも通じるものがあります。

このように、伝統文化を大切に守っていくことは、とかく全国一律になりつつある日本ではとりわけ大切なことです。大石田も文化の町に恥じないようにしていかなければなりません。

（記　小玉）

お詫びと訂正

議会だより（№.113号4ページ4段目）に掲載しました賛成議員名で、「伊藤」と記載しましたが「伊澤」の誤りでしたので、訂正しお詫びいたします。

編集後記

今回のこの号が平成15年11月の選挙で当選した定員16人の議会で発行する最後の議会だよりとなります。

この4年間を振り返りますと、町にとっても町民の皆様にも激動の4年間であったと思います。

まず最初は、現職の議長であった齋藤實氏の突然の死去であります。

次に、お隣の尾花沢市との合併と、それに伴う住民投票が行なわれ、反対が多数を占め、町は自立の道を選択しました。

最後は建設用地を巡って議会でも大論戦となった統合中学校問題です。

次号は新議会の発行となりますが、次の4年が平穏であることを希望します。最後に、町民の皆様のご愛読に感謝し、ここに筆を置きます。

（記　奥山）

■広報特別委員会■
委員長　小玉　勇
副委員長　関　幸悦
委員　村形　昌一
委員　高橋　徹
委員　奥山　克弥
委員　小林　征雄